

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和4年10月25日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和4年11月25日（金）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

県民の命を守る新たな対策

～「わたしの避難計画」による早期避難意識の醸成～・・・・・・・・・・ 1
(賀茂地域局危機管理課)

◎10月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

賀茂キャンパスを活用した取組(11月予定分)・・・・・・・・・・ 16
(賀茂地域局地域課)

防災講座の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
(賀茂地域局危機管理課)

伊豆・富士山地域における「ぶしのくに静岡県」広域プロモーション事業・22
(伊豆観光局)

県税広報広聴展の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
(下田財務事務所)

軽油引取税に係る自動車用燃料の路上抜取調査結果について・・・・・・・・ 24
(下田財務事務所)

11月は「児童虐待防止推進月間」です！・・・・・・・・・・ 25
(賀茂健康福祉センター)

狩猟解禁に伴う一斉パトロールの実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
(賀茂農林事務所)

キンギョソウ全日本花卉種苗審査会及び品種検討会の開催・・・・・・・・ 27
(農林技術研究所伊豆農業研究センター)

消費生活出前講座の実施(11月予定分)・・・・・・・・・・ 28
(賀茂広域消費生活センター)

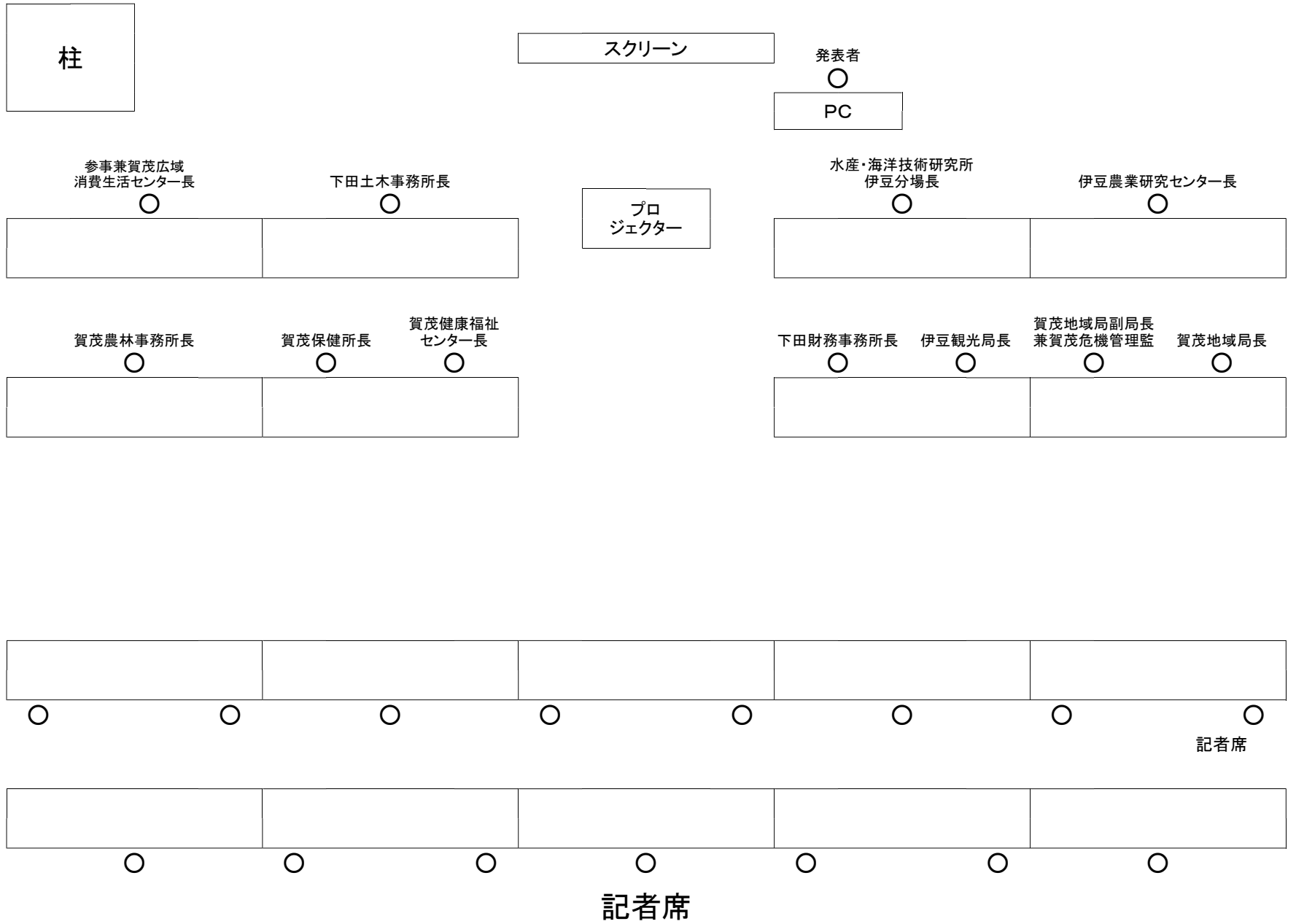
くらしに役立つ県民講座

「よりよいシニアライフのためのお金の守り方・活かし方」・・・・・・・・ 29
(賀茂広域消費生活センター)

参加者名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	やまね まさつぐ 山根 正嗣
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	やながわ のりゆき 柳川 典之
4	下田財務事務所長	はらだ なおあき 原田 直彰
5	賀茂健康福祉センター所長	たなか ひさし 田中 尚
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	やぶざき たけひこ 藪崎 武彦
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	すずき もとお 鈴木 基生
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	まつなが としの 松永 俊乃
12	賀茂地域局次長兼地域課長	あおき かつひろ 青木 克裕
13	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表 (下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



○ 次長兼
地域課長

○ 参事兼
危機管理課長

(令和4年10月25 定例記者懇会)

県民の命を守る新たな対策

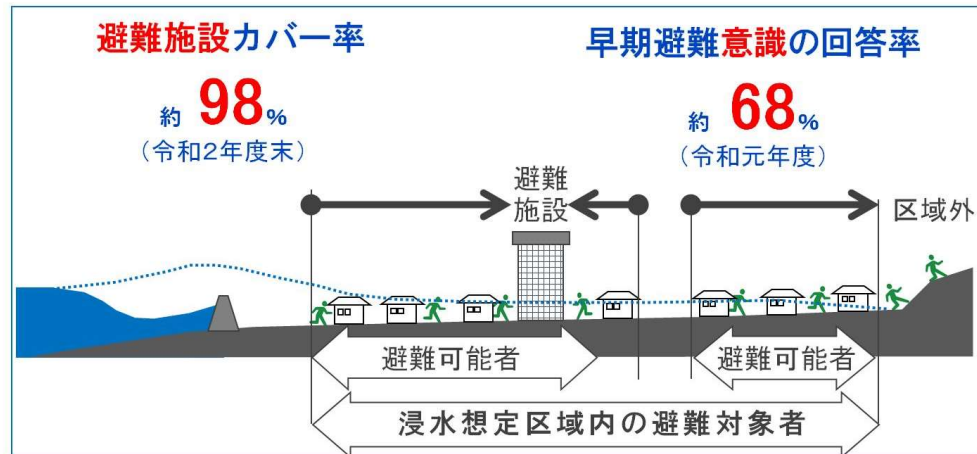
～「わたしの避難計画」による早期避難意識の醸成～

静岡県 賀茂地域局 危機管理課

- ・ 賀茂地域局危機管理課からは、静岡県が県民の命を守る新たな取組として、令和3年度から取り組んでいる「わたしの避難計画」による早期避難意識の普及啓発について紹介する。

減災目標達成のために

避難による減災効果＝津波犠牲者×避難施設カバー率×早期避難意識回答率



津波避難施設の効果を発揮し、県民の命を守るため、
“早期避難意識”の更なる向上が必要です。

2

- ・ 静岡県では、東日本大震災後の「第4次地震被害想定」を踏まえ、想定される犠牲者を2022年度（令和4年度）までの10年間で、8割減少させることを減災目標とした
「地震・津波対策アクションプログラム2013」を2013年（平成25年）11月に策定。
- ・ 人命を守ることを最も重視し、地震・津波対策をハード・ソフトの両面から可能な限り組み合わせて充実・強化することにより、想定される被害をできる限り軽減する「減災」を目指す。
- ・ 特に想定される犠牲者の9割以上を占める「津波」に対しては、防潮堤などのハード整備が概ね順調に進捗している一方、県民の早期避難意識は未だ68%程度と低迷している状況。
- ・ 順調に進捗している施設の整備効果を最大限発揮させるためには、県民の更なる意識向上が必要。

※避難施設カバー率＝
$$\frac{\text{避難施設や浸水区域外への避難可能者}}{\text{浸水想定区域内の避難対象者}} = \text{約 } 98\% \text{ (令和2年度末)}$$

わたしの避難計画 < 牧之原市の例 >

「わたしの避難計画」

～作成ガイドで確認したことをメモしておこう～

大雨の時

河川氾濫 土砂災害

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 (●を塗りつぶす)

- 牧之原市LINE
- まきのほらTeaメール
- 静岡県防災アプリ
- その他

山折り

巨大地震の時

自宅に津波が来る地域 自宅に津波が来ない地域

●避難のタイミング

●避難先

●避難先(集合場所)

●避難のタイミング

●避難先

地震発生から

分以内に

に到着する

その後

自宅が危険な場合は
指定避難所へ

自宅にいても安全な場合は
自宅待機

河川氾濫による危険 (いずれか1つに印をつけておく)

土砂災害による危険 (いずれか1つに印をつけておく)

家屋流出のおそれあり (家屋崩壊のおそれのある区域に居住)

土砂災害のおそれあり (土砂災害警戒区域に住んでいる)

家屋流出のおそれはないが、浸水のおそれあり (河川の浸水想定区域に居住)

土砂災害警戒区域に住んでいる (土砂災害特別警戒区域に住んでいる)

危険なし

危険なし

危険なし

自由記載欄 (持ち出し品や、家族や親戚の電話番号 など)

巨大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう!

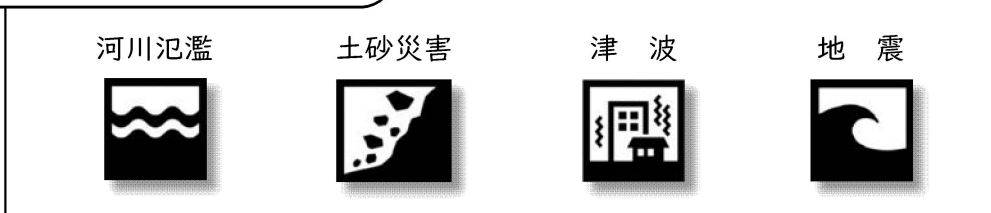
いざという時には、ミニッツにならないで落ち着いて確認・行動しよう!

個人ごとの避難計画「わたしの避難計画」の作成により、
県民の**早期避難意識の向上**を図ります。

3

- ・そこで、県民一人ひとりが災害を「自分事」として捉えて避難のタイミングを自ら判断し、適切に避難できるよう、令和3年度より市町と一体となって「わたしの避難計画」の普及に取り組んでいる。
- ・画面は、牧之原市が作成した大雨による河川氾濫と土砂災害に対する避難計画の雛形の作成例
- ・「わたしの避難計画」とは、身の回りの災害リスクを正しく理解し、災害に応じて「いつ」「どこに」避難するかを、あらかじめ記載した個人ごとの避難計画。

身の回りの災害リスク



- ・自分が生活している地域の危機情報を踏まえつつ、地域の実情に即した避難のタイミングや避難先を自ら記載し、災害リスクを確認することにより、**早期避難意識の向上**を図る。

住民ワークショップ(R3年度)

8地区×2回
参加者延べ約370人

誰もが記入しやすい「わたしの避難計画」の雛形を作るため、
分かりづらい点や、作りづらさなどの率直な意見をもらいました。

- 令和3年度は、災害リスクの異なる県内8カ所をモデル地区として、住民ワークショップを開催。

県内8箇所のモデル地区

菊川市、御前崎市、牧之原市、南伊豆町、河津町、伊豆の国市、清水町、焼津市

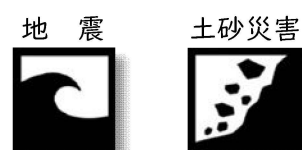
- 誰もが「わたしの避難計画」を簡単に作れるものという視点で、住民目線の意見を反映させた雛形の作成に向けて実施。
- 賀茂管内においては、河津町と南伊豆町において実施され、地域住民の方々とのワークショップの中で意見交換を実施。

賀茂管内で住民ワークショップを実施したモデル地区

南伊豆町 石廊崎地区



河津町 見高入谷地区



住民意見の反映（抜粋）

① 情報のスリム化

作成ガイド
A4 × 約40ページ



情報量が多い



作成ガイド
A3 × 1枚

② 情報のローカル化

市町全域の
ハザードマップを使用



自宅を探しにくい



居住地域の
範囲に絞った
ハザードマップを
作成ガイドに掲載

5

- ・ワークショップでは、県から最初に作成ガイドなどの案を提示。
⇒内容が盛り込みすぎであった提示案に対する住民からの意見。

『作成ガイドは、情報量が多すぎて、かえって分かりづらい』
『ハザードマップの範囲が広く地図上で自宅が見つけづらい』

など

- ・これらの意見を踏まえ、案をブラッシュアップ。
- ・ポイントは2点。
 - ①情報のスリム化
作成ガイドは、簡潔に分かり易く最小限の情報を掲載
 - ②情報のローカル化
ハザードマップは、居住地域に範囲を絞り込んで掲載
- ・住民から頂いた意見を反映させることにより、誰でも分かり易く、誰もが作りやすい「わたしの避難計画」の「雛形」を完成。

R4年度の普及展開

①重点地域における「わたしの避難計画」の普及



- 市町と連携して、**津波浸水想定区域内**での普及を目指します。

②「わたしの避難計画」**電子版**を県HPに構築



- プッシュ型配布を基本としつつ、幅広い世代への普及のため、スマートフォン等で入力できる**電子版を構築**します。

6

- 令和4度は、津波浸水想定区域を「重点地域」と位置づけ、市町と連携しつつ、優先的な普及展開に取り組む。
- 具体的な取組
地域防災訓練や津波避難訓練等の機会を捉えて、
○地域の方々に「わたしの避難計画」を実際に作成してもらい理解を深めてもらう。
○参加されていない方には、自治会や自主防災組織の方から「わたしの避難計画」の作成主旨等を伝えるとともに、個別具体的に丁寧な説明を行い、理解してもらう。
- また、「わたしの避難計画」の電子版を構築し、電子媒体を活用した幅広い世代への普及に取り組む。
- 具体的には、県ホームページに「わたしの避難計画」作成のための電子版を掲載し、スマートフォンなどの電子媒体を活用した作成を可能にするなど、多様な作成手段や作成機会を増やすことにより普及促進を図る。



- ・ 賀茂地域においても管内市町と一体となって「わたしの避難計画」の作成ガイドと仕様（記入様式）を速やかに完成させ、地域住民への配布とともに積極的な活用に向けて取り組んでいる。
- ・ 県民の皆さま、賀茂地域の皆さまには、様式に自ら記入していただき、「わたしの避難計画」を作成していただくことで、様々な災害リスクに対する早期避難意識の向上に繋がり、さらには、「減災目標」である犠牲者の8割減に向けて「減災」が推し進んでいくと考えている。
- ・ 引き続き、市町と連携して、賀茂管内全市町においても、年度末までの作成ガイドの完成、記入様式の配布の完了を目指して取り組んでいく。


作成ガイドの作成例

西伊豆町
わたしの避難計画 作成ガイド

<目次>

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認	P1
大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
地震① 地震・津波のリスクを確認し、記入	P4
地震② 地震・津波が発生した時の避難先を確認し、記入	P4

<見本>



はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらう方を決めておきましょう。

次のページに進もう→ p1

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

宇久須川・大久須川・安良里浜川・仁科川・白川・本谷川の近くにお住いの方はハザードマップで河川氾濫による危険を確認し、「わたしの避難計画」にチェック印

河川氾濫による危険

防災ハザードマップのP21～46を確認しよう!



(1) 家屋倒壊等氾濫想定区域 (本体のうら面を確認してください)
または が付いている所は、川が氾濫した場合に家屋が流出するおそれがあります。
※本体のうら面に「家屋倒壊等氾濫想定区域」が搭載されていない場合は、次へ進んでください。

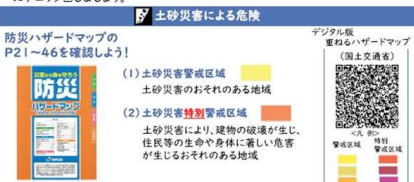
(2) 浸水想定区域(浸水深)
色が付いている所は、川が氾濫した場合に浸水するおそれがあります。
浸水深を色で確認しましょう。

想定最大規模と計画規模の2種類がある場合、想定最大規模を確認しよう。

土砂災害ハザードマップで土砂災害による危険を確認し、「わたしの避難計画」にチェック印をしましょう。

土砂災害による危険

防災ハザードマップのP21～46を確認しよう!



(1) 土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある地域

(2) 土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じおそれのある地域

土砂災害の危険度が「土砂キキクル」で確認できます!

土砂キキクルが「危険」以上の場合、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域にお住まいの方は、速やかに避難を開始しましょう。

- 画面は、西伊豆町で作成を進めている「わたしの避難計画」の作成ガイドの作成例。(まだ作業途中であり、未定稿のもの)
- 大雨による「河川氾濫」「土砂災害」、及び「地震」「津波」それぞれに対する避難計画の作成手順や記入内容の説明。
- 画面は、作成ガイド全体の概要と大雨(河川氾濫、土砂災害)時の記入内容の説明ページ。
- 実際のモノは、A3版で両面印刷となっている。

8

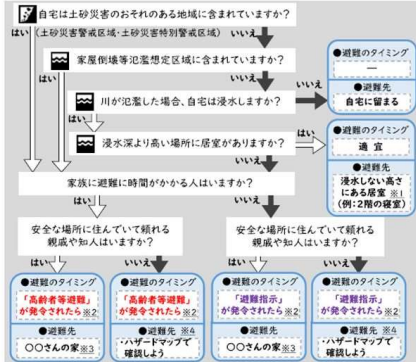
作成ガイドの作成例

【記載イメージ】
※実際の配布物と異なる可能性があります。

大雨 (河川氾濫・ 土砂災害)

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

⑦ 下図を参考に、避難先・避難のタイミングを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう。



※1 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「移動トイレ」などを準備しておく！
 ※2 町からの避難指示を待たずに危険を感じた場合は、すぐに避難しましょう！
 ※3 親戚や知人の家には、できれば2-3日前に避難しよう！
 ※4 ホテル等への避難も避難先の選択肢の一つです。

⑧ 下記を参考に、情報収集手段を確認し、「わたしの避難計画」に記入しよう。

町内の高齢者等避難や避難指示、避難所の情報	県内の高齢者等避難や避難指示、避難所の情報、河川の情報等
西伊豆町 すくもPlus+	静岡県防災アプリ
西伊豆町防災アプリ	トピズ
その他アプリ	ボタンで情報表示

p3

地震・津波

地震① 地震・津波のリスクを確認し、記入

地震による危険・・・震度6弱以上が想定されています。

津波による危険・・・沿岸部で津波による浸水が想定されています。

⑦ 防災ハザードマップと津波到達時間マップで津波の危険を確認し、「わたしの避難計画」にチェック回しましょう。

防災ハザードマップのP7-14を確認しよう！

津波到達時間マップ



デジタル版避難ハザードマップ

津波到達時間

静岡県GIS

津波到達時間

地図上をタッチすると、時間が表示されます。

地震② 地震・津波が発生した時の避難先を確認し、記入

⑦ 津波が自宅に来るのか、来ないのか、「わたしの避難計画」にチェック回しましょう！

⑧ 津波が来ない場合は、各地区で決められている避難先(集合場所)を「わたしの避難計画」に記入しましょう！

⑨ 津波が来る場合は、津波到達時間までに避難できる安全な避難先を決めておき、避難先を「わたしの避難計画」に記入しましょう！
 ※避難先が分からない場合は、「防災ハザードマップ」で確認しよう

ハザードマップは西伊豆町のHPで見ることができます。西伊豆町ハザードマップ

p4

9

- 画面は、大雨（河川氾濫、土砂災害）の続きと、地震（地震、津波）に対する記入内容の説明ページ。

仕様(記入様式)の作成例

【地区版仕様(記入様式)イメージ】
 ※実際の配布物と異なる可能性があります。

作成日 年 月 日

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫による危険 (いずれか1つに◎)

なし 家屋流出のおそれあり (家屋倒壊等氾濫想定区域内) 家屋流出のおそれはないが、**浸水のおそれあり** (下から選んで◎で囲もう)

土砂災害による危険 (いずれか1つに◎)

なし 土砂災害のおそれあり (下から選んで◎で囲もう)

土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域

わたしの避難計画 (西伊豆町仁科地区)

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 (○を付けよう 複数可)

西伊豆町すぐメールPlus+

キキクル

静岡県防災アプリ

テレビ ()

その他 ()

地震・津波

地震① 地震・津波のリスクを確認し、記入

津波による危険

津波はきません 津波がきまず

●津波到達時間(1cm) ●津波浸水深

[下から選んで◎で囲もう] [下から選んで◎で囲もう]

10分以上 5m-10m未満

9分以上10分未満 8分以上9分未満 7分以上8分未満 6分以上7分未満 5分以上6分未満 5分未満

3m-5m未満 2m-3m未満 1m-2m未満 0.5m-1m未満 0m-0.5m未満

地震による危険

震度6弱以上のゆれから身を守りましょう!

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう!

地震② 地震・津波が発生した時の避難先を確認し、記入

津波はきません 津波がきまず

●避難のタイミング

強いゆれが収まったら

●避難先(集合場所)

●避難のタイミング

強いゆれが収まったらすぐに
強いゆれを感じなくても
「津波注意報」や「津波警報」
「大津波警報」が発表されたら

●避難先

地震発生後 速やかに [] に避難する

自宅が危険な場合は 指定避難所 [] へ

自宅にいても安全な場合は 自宅待機

自由記入欄 (連絡先等)

・実際に記入する「わたしの避難計画」の様式と作成例。

西伊豆町 わたしの避難計画 作成ガイド

<目次>

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認	P1
大雨 大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
地震 地震① 地震・津波のリスクを確認し、記入	P4
地震② 地震・津波が発生した時の避難先を確認し、記入	P4

<見本>

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- ・ 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- ・ 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらう方を決めておきましょう。

次のページに進もう→ p1

大雨(河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

⑦ 宇久須川・大久須川・安良里浜川・仁科川・白川・本谷川の近くにお住まいの方はハザードマップで河川氾濫による危険を確認し、「わたしの避難計画」にチェック☑

防災ハザードマップの P21~46を確認しよう!

デジタル版
重ねるハザードマップ
(国土交通省)

(1) 家屋倒壊等氾濫想定区域
(本体ウラ面を確認してください)
■または■が付いている所は、川が氾濫した場合に家屋が流出するおそれがあります。
※本体ウラ面に「家屋倒壊等氾濫想定区域」が掲載されていない場合は、次へ進んでください。

(2) 浸水想定区域(浸水深)
色が付いている所は、川が氾濫した場合に浸水するおそれがあります。
浸水深を色で確認しましょう。

想定最大規模と計画規模の2種類がある場合、想定最大規模で確認しよう。

⑧ 土砂災害ハザードマップで土砂災害による危険を確認し、「わたしの避難計画」にチェック☑しましょう。

防災ハザードマップの P21~46を確認しよう!

デジタル版
重ねるハザードマップ
(国土交通省)

(1) 土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある地域

(2) 土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域

(参考) 土砂災害の危険度が「土砂キキクル」で確認できます!

土砂キキクル
土砂キキクル(気象庁)

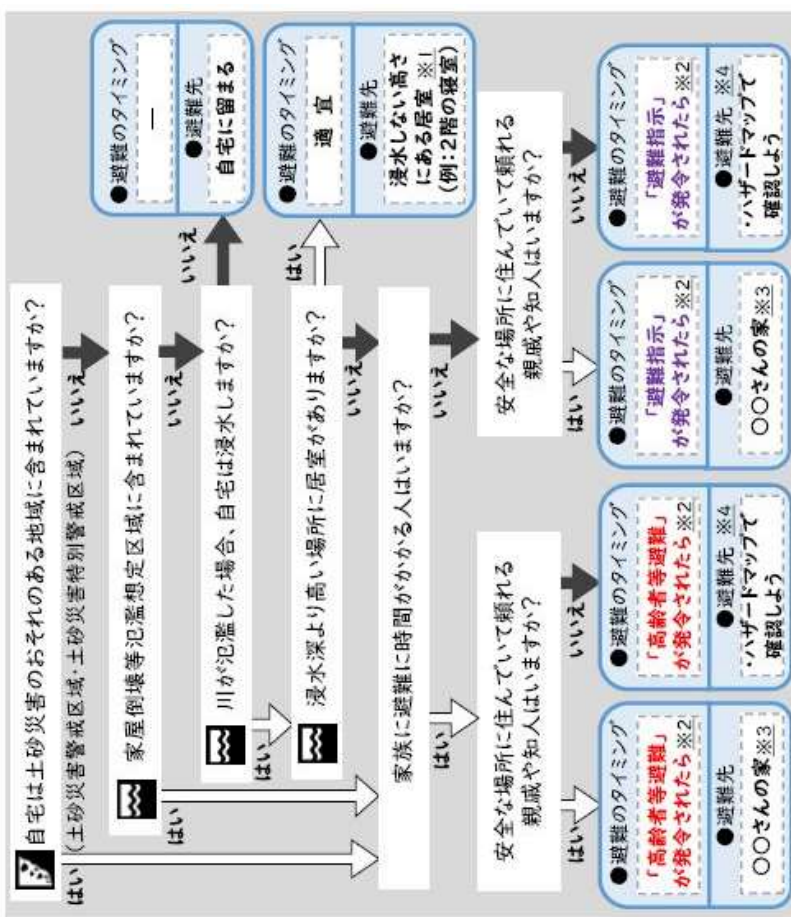
土砂キキクルが「危険」以上の場合、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域にお住まいの方は、速やかに避難を開始しましょう。

出典：気象庁 ホームページ

大雨(河川氾濫・土砂災害)

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

① 下図を参考に、避難先・避難のタイミングを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう。



- ※1 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておこう!
- ※2 町からの避難情報を待たずに危険と感じた場合は、すぐに避難しよう!
- ※3 親戚や知人の家には、できれば2~3日前に避難しよう!
- ※4 ホテル等への避難も避難先の選択肢の一つです。

① 下記を参考に、情報収集手段を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

町内の高齢者等避難や避難指示、避難所の情報
西伊豆町 すぐメールPlus+
西伊豆町 防災アプリ
その他アプリ

県内の高齢者等避難や避難指示、避難所の情報、河川の情報等
静岡県 防災アプリ
テレビ
ポタテ情報表示

地震・津波

地震① 地震・津波のリスクを確認し、記入

地震による危険・・・震度6弱以上が想定されています。

津波による危険・・・沿岸部で津波による浸水が想定されています。

① 防災ハザードマップと津波到達時間マップで津波の危険を確認し、「わたしの避難計画」にチェック図しましょう。

防災ハザードマップのP7~14を確認しよう!

津波到達時間マップ



津波到達時間の詳細は、本体ワラ面掲載のマップにて確認しましょう。

デジタル版
重ねるハザードマップ
津波 浸水 深

静岡県GIS
津波到達時間

地図上をタッチすると、時間が表示されます。

地震② 地震・津波が発生した時の避難先を確認し、記入

① 津波が自宅に来るのか、来ないのか、「わたしの避難計画」にチェック図しましょう!

② 津波が来ない場合は、各地区で決められている避難先(集合場所)を「わたしの避難計画」に記入しましょう!

③ 津波が来る場合は、津波到達時間までに避難できる安全な避難先を決めておき、避難先※を「わたしの避難計画」に記入しましょう!
※避難先が分からない場合は、「防災ハザードマップ」で確認しよう

ハザードマップは西伊豆町のHPで見ることができます。

西伊豆町ハザードマップ

【地区版仕様(記入様式)イメージ】 ※実際の配布物と異なる可能性があります。

作成日

年 月 日

わたしの避難計画 (西伊豆町仁科地区)

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫による危険 (いづれか1つに☑)

なし 家屋流出のおそれあり (家屋倒壊等氾濫想定区域内)

家屋流出のおそれはないが、
浸水のおそれあり
〔下から選んで☐で囲もう〕



土砂災害による危険 (いづれか1つに☑)

なし 土砂災害のおそれあり (土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域)

〔下から選んで☐で囲もう〕



地震① 地震・津波のリスクを確認し、記入

津波による危険

津波はきません

津波がききます

●津波到達時間(1cm) 〔下から選んで☐で囲もう〕



地震による危険

震度6弱以上のゆれから身を守りましょう!

大地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう!

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段 (○を付けよう) (複数可)

- 西伊豆町すぐメールPlus+
- キキクル
- 静岡県防災アプリ
- テレビ **d**
- その他()

地震・津波

地震② 地震・津波が発生した時の避難先を確認し、記入

津波はきません

津波がききます

●避難のタイミング

強いゆれが収まったら

●避難先(集合場所)

その後判断

自宅が危険な場合は指定避難所へ

自宅にいても安全な場合は自宅待機

●避難のタイミング

強いゆれが収まったらすぐに

強いゆれを感じなくても「津波注意報」や「津波警報」「大津波警報」が発表されたら

●避難先

地震発生後 速やかに [] に避難する

自由記入欄 (連絡先等)

行事予定表（令和4年11月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	火	庁舎見学（稲生沢小学校） 10:00～11:00 稲生沢小学校		児童虐待推進月間（ポスター掲示等） （～30日 庁舎1階ロビー）	狩猟解禁一斉パトロール 8:30～10:30 管内6市町	
2	水	防災講座（伊豆下田分校） 10:35～11:35 伊豆下田分校				
3	木					
4	金	防災講座（南伊豆中学校） 11:30～15:30南伊豆中学校		児童虐待防止推進月間街頭キャンペーン （11:00～東急ストア下田店）		
5	土					
6	日					
7	月	防災講座（下田中学校） 8:30～12:20 下田中学校				
8	火	防災講座（下田小学校） 13:00～13:45 下田小学校				
9	水	防災講座（熱川幼稚園） 9:00～11:00 熱川幼稚園				
10	木	①防災講座（浜崎小学校） ②防災講座（下田高校定時制） ①10:00～11:30 浜崎小学校 ②17:40～19:50 下田高校				
11	金	①防災講座（下田認定子ども園） ②観光人材育成のための 社会人講座番外編 ①10:00～11:00 下田認定子ども園 ②13:00～15:00 賀茂キャンパス				
12	土					
13	日					
14	月	防災講座（朝日小学校） 13:25～15:05 朝日小学校	県税広報広聴展			
15	火					
16	水					
17	木	防災講座（稲取幼稚園） 9:00～12:00 稲取幼稚園				
18	金	賀茂キャンパス活用プログラム 「静岡県立大学 社会人講座」 第21回講座 13:30～15:00 賀茂キャンパス				
19	土					
20	日					
21	月	防災講座（下田小学校） 13:00～14:35 下田小学校				
22	火	防災講座（河津中学校） 13:35～15:25 河津中学校				
23	水					
24	木	防災講座（浜崎小学校） 13:05～14:40 浜崎小学校				
25	金	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	土					
27	日					
28	月	防災講座（稲生沢小学校） 13:40～15:15 稲生沢小学校				
29	火	夜活IN賀茂キャンパス第3回講座 18:30～20:00 賀茂キャンパス				
30	水					

行事予定表（令和4年11月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	火					
2	水					
3	木					
4	金					
5	土					
6	日					
7	月					
8	火					
9	水			にこにこ会出前講座 13:30～14:00		
10	木					
11	金					
12	土					
13	日					
14	月					
15	火	キンギョソウ品種検討会 14:30～16:00 伊豆農研		くらしに役立つ県民講座 13:30～15:30		
16	水					
17	木					
18	金					
19	土					
20	日					
21	月			13:30～15:00 特別法律相談		
22	火					
23	水					
24	木					
25	金					
26	土					
27	日					
28	月					
29	火					
30	水					

賀茂キャンパスを活用した取組（11月予定分）

（賀茂地域局地域課）

（要旨）

賀茂キャンパスにおいて、「観光人材育成のための社会人講座（番外編）」「観光人材育成のための社会人講座（第21回）」「夜活 IN 賀茂キャンパス（第3回/全3回）」を開催する。

（内容）

①観光人材育成のための社会人講座（番外編）

日 時	令和4年11月11日（金）13：00～15：00
場 所	賀茂キャンパス
内 容	講師：一般社団法人 美しい伊豆創造センター常務理事 林田 充 テーマ：『台湾地域外交&インバウンド推進“おもてなし”の盲点と落とし穴～台湾のお客様から嫌われていませんか？～』
備 考	申込期限：10月31日（火） 詳細については別添チラシを参照

②観光人材育成のための社会人講座（第21回）

日 時	令和4年11月18日（金）13：30～15：00
場 所	賀茂キャンパス
内 容	講師：静岡県立大学ツーリズム研究センター長 八木 健祥 テーマ：『首都圏20代・30代から見た賀茂地域の印象』 ※詳細については別添チラシを参照

③夜活 IN 賀茂キャンパス（第3回/全3回）

日 時	令和4年11月29日（火）18：30～20：00
場 所	賀茂キャンパス
内 容	講師：静岡大学未来社会デザイン機構講師 内山 智尋 テーマ：『日本人の目から見た中国人と生活事情-観光への活かし方を考える-』 副 題：「中国人は日本をどう見てる？」 ※中国国内の旅行会社に勤めている中国人とオンラインで対談します。
備 考	申込期限：11月22日（火） 詳細については別添チラシを参照

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催延期又は中止とする場合があります。

担 当 ： 賀茂地域局地域課
連絡先 ： 0558-24-2204

観光人材育成のための社会人講座

参加費
無料

対象 / 行政：地域外交責任者・担当者、企画・観光責任者・担当者
観光サービス関連事業 経営者・管理者・担当者
台湾との経済・文化交流、インバウンドに関心のあるすべての方

番外編

定員
40名

日時 令和4年11月11日(金) 13:00～15:00

場所：静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス
(下田市中531-1)

台湾 地域外交&インバウンド推進 “おもてなし”の盲点と落とし穴 ～台湾のお客様から嫌われていませんか？～

主な内容

- * 台湾人の「日本への愛」の真実と葛藤
- * 誰も教えてくれない、わずか400年の台湾の歴史
- * 「中華民国」と「チャイニーズタイペイ」と「台湾」
- * 台湾インバウンド&日台友好交流拡大の秘訣

講師 林田 充

(一社)美しい伊豆創造センター常務理事
前・世帝喜旅行社股份有限公司董事長(JTB台湾社長)

1961年生まれ、1983年より(株)日本交通公社(現JTB)勤務、交流文化事業部長、沼津支店長、静岡支店長、JTB台湾社長など歴任、2021年4月より現職。

海外視察添乗1100日、海外駐在5年、海外行政産業視察・地域活性化・賓客来日対応・日台相互交流推進が専門分野。

伊豆半島との強いご縁に感謝し、交流人口の拡大、来訪者と生活者の満足度向上に全力で取り組んでいる。



申込方法

10月31日(月)までに、①氏名(ふりがな)②所属③電話番号を以下のいずれかの方法でご連絡ください。

○インターネット 右のQRコードから入力してください。→



○電話(0558-24-2202 平日8時30分から17時15分まで) 静岡県賀茂地域局地域課あて

○メール(kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp) 静岡県賀茂地域局地域課あて

主催：静岡県賀茂地域局 TEL0558-24-2202

- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては延期や中止の可能性があります。
 - ・マスク着用、検温、手指消毒にご協力をお願いします。
 - ・当日の写真等を関係機関のHPやSNSで発信します。
- 掲載を希望しない方は事前にお申し出ください。

アクセス：伊豆急下田駅から

徒歩10分

駐車場に限りがあるので

可能な限り公共交通機関で

お越しください。



賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター
共催：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2022年 第21回

11月18日(金) 13:30～15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

首都圏20代・30代からみた賀茂地域の印象

講師：八木 健祥

静岡県立大学経営情報学部教授

1981年4月 日本銀行入行

2008年6月 日本銀行静岡支店次長

2019年4月 静岡県立大学教授

2020年4月 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科
ツーリズム研究センター長

【専門分野】観光政策、交通経済論

【講話要旨】

新型コロナウイルスの感染長期化の影響から、賀茂地域にかつてのような大人数の団体旅行が入ってくることは難しい情勢となっています。結果として個人をターゲットとした誘客戦略に舵を切らなければなりません。将来のリピーター層確保のためには20代・30代の層にも賀茂地域に関心を持ってもらい来訪するように仕向けて行くことが必要です。そこで今回は首都圏在住の20代・30代が賀茂地域、さらには伊豆半島にどんなイメージを持っているのかWebアンケートからみる印象を紹介します。私のように幼少期から海に親しんできた人間からは想像できない結果をお話しさせて頂きたいと思います。ご期待ください。



働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属
ツーリズム研究センター

Mail: trc@u-shizuoka-ken.ac.jp

FAX : 054-264-5476



☆夜活IN賀茂キャンパス 講義60分、簡単な中国語講座30分☆

日本人の目から見た中国人と生活事情 —観光への活かし方を考える—

**参加費無料、オンライン参加可能
どなたでも、どの回からでも参加可能！**

長年にわたる
中国滞在経験に基づいて
感じたことをお話しします！
皆さんに少しでも楽しい時間を
過ごしてもらいたいです！

講師:内山 智尋 (静岡大学未来社会デザイン機構講師)
会場:賀茂キャンパス (下田市中531-1 静岡県下田総合庁舎別館2階)

全3回講座の概要 各回定員30人(先着順)

第1回 2022年7月28日(木) 18:30~20:00

- テーマ:「中国と日本のつながりを感じる」
中国の食、気質、言葉などの文化や日本との共通点について
- 中国語講座:中国語で挨拶しよう、食に関する中国語

第2回 2022年9月29日(木) 18:30~20:00

- テーマ:「中国人はこういう社会環境でたくましく生きている」
中国国内の政策、環境・高齢問題について
- 中国語講座:宿泊施設や観光地で使うフレーズ

第3回 2022年11月29日(火) 18:30~20:00

- テーマ:「中国人は日本をどう見てる？」
中国国内の旅行社と中国人の観光意識や日本に求めることについて対談
(第1~2回参加者に聞いてみたいことを事前に確認し、旅行社へ情報提供します)
賀茂地域のジオサイトは中国人からみて観光にどのように活かせるか考える
- 中国語講座:ZOOMを通じて、現地の人と中国語であいさつ

参加希望の方は裏面の申込方法に従い、申し込みください。
お問い合わせ先:静岡県賀茂地域局地域課
(TEL0558-24-2202,Mail:kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp)

主催:静岡大学未来社会デザイン機構 共催:賀茂キャンパス活用推進委員会

講師プロフィール



内山 智尋 (UCHIYAMA CHIHIRO)

静岡県東部出身。専門は地域福祉、国際協力、中国社会保障など。

大学時代に中国に留学し、その後、JICA（国際協力機構）や国際NGOで長期にわたり、北京市、四川省、貴州省などで、農業、保健医療、貧困対策など様々なプロジェクトにかかわる。

趣味で中国少数民族の刺繍や染め物を収集している。2022年1月より静岡大学未来社会デザイン機構講師、東部サテライト専任。

申込方法

各回開催日の1週間前までに、①～④の項目を以下のいずれかの方法でご連絡ください。

- ①氏名(ふりがな)②電話番号③参加方法(対面orZOOM)
④(ZOOMの場合)メールアドレス

○インターネット
右のQRコードから入力してください。→



○電話(0558-24-2202 平日 8時30分から17時15分まで)
静岡県賀茂地域局地域課あて

○メール (kamo-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp)
静岡県賀茂地域局地域課あて

アクセス方法

伊豆急下田駅から徒歩10分
駐車場に限りがあるので可能な限り
公共交通機関でお越しください。



注意事項

- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては延期や中止の可能性があります。
- ・マスク着用、検温、手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日の写真等を関係機関のHPやSNSで発信します。
掲載を希望しない方は事前にお申し出ください。

防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
11月1日(火) 10:00~11:00	稲生沢小学校(下田市)	4年生	庁舎見学	
11月2日(水) 10:35~11:35	伊豆下田分校(下田市)	全校	地震体験 防災ダック	
11月4日(金) 11:30~15:30	南伊豆中学校 (南伊豆町)	1~3年生	意識・啓発 HUG	
11月7日(月) 8:30~12:20	下田中学校(下田市)	2年生	DIG	
11月8日(火) 13:00~13:45	下田小学校(下田市)	2・3年生	地震体験 クイズ	
11月9日(水) 9:00~11:00	熱川幼稚園(東伊豆町)	全園児 保護者	地震体験 HUG	
11月10日(木) 10:00~11:30	浜崎小学校(下田市)	4年生	地震体験 庁舎見学	
11月10日(木) 17:40~19:50	下田高校定時制 (下田市)	1~4年生	クロスロード	
11月11日(金) 10:00~11:00	下田認定こども園 (下田市)	4・5歳児	地震体験	
11月14日(月) 13:25~15:05	朝日小学校(下田市)	5年生	ジュニア HUG	
11月17日(木) 9:00~12:00	稲取幼稚園(東伊豆町)	全園児	未定	
11月21日(月) 13:00~14:35	下田小学校(下田市)	4年生	ジュニア HUG	
11月22日(火) 13:35~15:25	河津中学校(河津町)	2・3年生	地震体験 HUG	
11月24日(木) 13:05~14:40	浜崎小学校(下田市)	4年生	ジュニア HUG	
11月28日(月) 13:40~15:15	稲生沢小学校(下田市)	5年生	イメトレ	

(計 15回)

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止又は延期の可能性があります。

(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担当：危機管理課 森（連絡先：0558-24-2004）

定例記者懇談会資料

伊豆・富士山地域における 「ぶしのくに静岡県」 広域プロモーション事業

(静岡県東部地域局 (伊豆観光局))

1 要旨

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を契機に、歴史・文化資源を活用して誘客・広域周遊を促進する「ぶしのくに静岡県」の取組として、伊豆・富士山地域の史跡・観光施設等を巡る、謎解き Web スタンプラリーを実施する。

併せて、首都圏の JR 東日本管内の駅、路線内での広報及び YouTube や Twitter 等を活用したデジタル広報を行い、首都圏からの誘客を促進する。

2 謎解き Web スタンプラリー事業概要

名 称	伊豆・富士山歴史絵巻 謎解き & Web スタンプラリー “武士からの挑戦状”
時 期	令和4年10月20日(木)～令和5年1月16日(月)
エリア	静岡県内伊豆・富士山地域 (20 市町)
チェックポイント	静岡県内伊豆・富士山地域内に残る源頼朝、北条氏等ゆかりの史跡、観光施設 106 か所(うち謎解きチェックポイント6か所)
ポイント取得条件	謎解きチェックポイントで謎を解くと3ポイント取得 チェックポイントでのQRコード読取り又はGPS取得で1ポイント取得
賞	取得ポイントに応じ、抽選で地場産品を贈呈
その他	・割引特典事業 (取得スタンプの店舗の提示で割引特典等が受けられる) ・謎を記載したパンフレットは市町観光協会、「ぶしのくに静岡県」ウェブサイト等で入手可能
主 催	静岡県 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会

3 首都圏広報事業概要

項目	内容
主要駅構内でのポスター掲出	駅(東京、品川、池袋等 120 駅)構内で B1 ポスター掲出 掲出期間：10月20日から11月2日
主要駅構内でのPR動画放映	駅(上記記載駅等 76 駅)構内デジタルサイネージでPR動画放映 掲出期間：11月8日から11月24日
主要駅構内でのパンフレット配架	駅(上記記載駅等 475 駅)構内でパンフレット配架 掲出期間：10月24日から令和5年1月16日
車両での中吊りポスター掲出	路線(山手・京浜東北線等 7 路線)車両内で B3 ポスター掲出 掲出期間：10月20日から11月2日
車両でのPR動画放映	路線(上記記載路線等 10 路線)車両内でPR動画放映 掲出期間：10月24日から令和5年1月16日

※ 現地取材希望の方は、下記担当まで御連絡ください。

担 当：地域課 堤

連絡先：055-920-2139

E-mail：toubu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

県税広報広聴展の開催

(下田財務事務所)

(目的)

身近な税について考えていただくことで、納税意識を高め、正しい申告と納期内納付による県税収入の確保を図るため、「税を考える週間」にあわせ県税広報広聴展を開催します。

(概要) 県税広報広聴展

- 1 実施期間 令和4年11月11日(金)～11月17日(木) 7日間
- 2 実施場所 下田総合庁舎1階 エントランスホール
- 3 内 容
 - ・県税に関するパネル・写真等の展示、差押タイヤロックの展示、県税のしおりや啓発物品の配布
 - ・令和4年度「税に関する作品」優秀作品の一部写しを展示(※)
 - ・県税に対するアンケートの実施
お答えいただいた方に、粗品(福祉施設授産品)進呈
 - ・「税に関する作品」優秀作品の展示については、20時まで窓越しに見学ができます。

※「税に関する作品」

税に関するものをテーマに小学生を対象とした習字とポスター、中学生を対象とした作文で、賀茂地域の小中学校27校から応募のあったものから優秀作品各5点程度を展示します。

令和4年度 賀茂地域からの応募総数

習字 310点 ポスター 74点 作文 361点

担当：管理課 開発
連絡先：0558-24-2013

軽油引取税に係る自動車用燃料の路上抜取調査結果について

(下田財務事務所)

(要旨)

下田財務事務所は、令和4年9月14日午後1時30分から午後3時まで、国道136号賀茂郡西伊豆町仁科地先（仁科漁港埋立地）において、自動車用燃料の路上抜取調査を実施し、走行中のディーゼル自動車を停車させ、燃料の採取・分析を行った。

また、当月は静岡県下一斉で、主要幹線道路等で同様の調査が実施されたので、併せてその結果を公表する。

項目	調査件数 (実施回数)	抜取本数		うち、クマリン反応が 認められたもの	うち、その他の異常 が認められたもの				
県下 一斉	下田	1	件	6	本	0	本	0	本
	沼津	1	件	25	本	0	本	0	本
	静岡	1	件	20	本	0	本	0	本
	浜松	1	件	20	本	0	本	0	本
	計	4	件	71	本	0	本	0	本

(参考)

この調査は、不正軽油による脱税を防止し、併せて軽油引取税の適正な賦課徴収について理解を求めることを目的として実施する。

(根拠規定：地方税法第144条の11第1項第3号及び同条第3項)

担 当：課税課課税第2班
連絡先：0558-24-2017

11月は「児童虐待防止推進月間」です！

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

近年、児童虐待に関する相談件数は増加しており、子どもの生命に関わるような重大事件も後を絶ちません。こうした深刻な状況が続く中、児童虐待は社会全体で解決すべき課題となっています。

国は、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、児童虐待問題に対して深い関心と理解を持ってもらうよう、様々な広報・啓発活動を行っています。賀茂管内においても以下により取り組みを実施します。

(概要)

1 パネル展示

- (1) 日 時 令和4年11月1日(火)～30日(水)
- (2) 会 場 静岡県下田総合庁舎1階ロビー
- (3) 内 容 児童虐待防止関連ポスター等掲載、啓発品の配布

2 街頭キャンペーン ※天候不良、緊急事態宣言中は中止とします。

- (1) 日 時 令和4年11月4日(金)
午前11時～配布物が無くなり次第終了
- (2) 実施場所 東急ストア下田とうきゅう店周辺
- (3) 内 容 賀茂健康福祉センター所長、賀茂児童相談所所長、児童相談所職員、下田市福祉事務所職員、ちゃっぴーによる啓発品の配布

3 有線テレビにおける情報配信

- (1) 日 時 令和4年10月26日(水)～11月30日(水)
- (2) 内 容 データ放送およびテロップ放送における情報配信

(参考)

過去3年間の県内全域および賀茂児童相談所における児童虐待相談件数

(単位：件)

年度	R1	R2	R3
静岡県全域	3,461	3,930	3,717
賀茂児童相談所	49	50	50

担 当：相談課 千田

連絡先：0558-24-2038

令和4年10月25日

定例記者懇談会資料

狩猟解禁に伴う一斉パトロールの実施

(賀茂農林事務所)

(目的)

11月1日からイノシシ、ニホンジカのわな猟・銃猟に限り狩猟が解禁になるのに伴い、下田警察署協力の下、県自然保護課、県賀茂農林事務所、賀茂猟友会、静岡県鳥獣保護管理員、市町等による狩猟者への県下一斉パトロールを実施し、狩猟における違反及び事故の防止を図る。

(概要)

1 狩猟期間（静岡県の場合）

令和4年11月15日（火）～令和5年2月15日（水）（通常）

※なお、平成29年度から、イノシシ、ニホンジカのわな猟及び銃猟のみ、令和4年11月1日（火）～令和5年3月15日（水）に期間を延長

2 実施日

令和4年11月1日（火） 午前8時30分～午前10時30分
雨天決行

3 実施場所

狩猟者が訪れることが予想される地域
鳥獣保護区など狩猟に制限がある地域 等

4 実施方法

管内6市町ごとに班を編成し巡回する。鳥獣保護管理法の遵守状況を見回るほか、狩猟者に対し声掛けやチラシ等による注意喚起、啓発を行う。

（捕獲禁止場所や禁止猟法で狩猟をしていないか、無登録で狩猟していないか等）

5 その他

取材の申し込みは、事前に森林整備課（0558-24-2082）にご連絡願います。

担 当 : 森林整備課 山田
連絡先 : 0558-24-2082

定例記者懇談会資料

キンギョソウ全日本花卉種苗審査会及び品種検討会の開催

(伊豆農業研究センター)

(目的)

伊豆地域は全国有数のキンギョソウ産地として知られ、高い栽培技術と計画出荷により市場評価が高い(R3年度実績：45万本、全国3位、伊豆農研担当調べ)。種苗会社による品種開発が盛んに行われており、新品種の特徴を生産者に情報提供することで産地を支援する。

花卉種苗審査会は、全国の種苗業者から応募があった新品種を公的な試験研究機関において栽培し、研究員がその商品性を審査するもので、キンギョソウの審査会は伊豆で9年連続して開催される。

また、同時に開催されるキンギョソウ品種検討会は、審査会に出品された品種を含めた最新品種の紹介、生産者との意見交換、当所における試験の情報提供等を行う。



ほ場案内の様子

(概要)

- 1 日時 令和4年11月15日(火) 午前10時から午後4時
- 2 場所 農林技術研究所伊豆農業研究センター(東伊豆町稲取3012)
- 3 内容
 - (1) キンギョソウ全日本花卉種苗審査会(午前10時から午後2時まで)
【主催：一般社団法人日本種苗協会】 **※審査会は非公開です**
 - (2) キンギョソウ品種検討会(午後2時30分から午後4時まで)
【主催：静岡県花卉園芸組合連合会】 **※品種検討会は取材可能です**
 - ①試験ほ場案内：午後2時30分から3時
伊豆農業研究センター 研究員 藤井俊行
 - ②「種苗会社から品種紹介と情報交換」
カネコ種苗・住化農業資材・サカタのタネ・タキイ種苗・ミヨシグループ等
- 4 出席者(審査会は審査員のみ)
キンギョソウ生産者、種苗業者、農業協同組合、経済連、県関係機関

担当：生育・加工技術科 勝岡、藤井
連絡先：0557-95-2341

令和4年10月25日

定例記者懇談会資料

消費生活出前講座の実施（11月予定分）

（賀茂広域消費生活センター）

（主旨）

賀茂広域消費生活センターでは、消費者被害の未然防止を図るため、悪質商法に関する知識やその対処法についての講座や、SDGsの達成のため消費者ができる消費行動のひとつであるエシカル消費※の普及の講座等を通年で実施しています。11月の出前講座の予定は下記のとおりです。

日 時	会 場	講座内容	対象者等
11月9日（水） 13：30～14：00	稲生沢公民館	「知って防ごう消費者トラブル」 高齢者を狙った悪質商法の手口と対処方法	にこにこ会 (20人程度)

※ エシカル消費

「エシカル」とは、「倫理的な」とか「道徳的な」という意味。

人や社会、環境に配慮したものやサービスを選んで消費することです。

例) 森林保全につながる製品を選ぶ、フェアトレード商品を買う、地元の商店で買い物をする

担 当： 賀茂広域消費生活センター

連絡先： 0558-24-2206 松 永

令和4年10月25日

定例記者懇談会資料

くらしに役立つ県民講座
「よりよいシニアライフのためのお金の守り方・活かし方」

(賀茂広域消費生活センター)

1 要 旨

コロナ禍の下での収入減や相次ぐ食料品の値上げ、燃料価格の高騰などが家計を直撃し、これからの生活に不安を抱いている人も多い。

賀茂広域消費生活センターにも収入減を補おうと詐欺まがいの投資にお金をつぎ込んでしまった人からの相談が寄せられている。お金はあった方が安心だが、慣れない投資に手を出すのも危険である。

そこで、金融広報アドバイザーを講師に、手元にあるお金を守りつつも、生活を少し豊かにしてくれるお金の活かし方の講座を開催する。併せて消費者トラブルに関する啓発も行う。

2 内 容

(1) 日 時 令和4年11月15日(火) 午後1時30分～午後3時30分

(2) 会 場 静岡県下田総合庁舎 賀茂キャンパス

(3) 研修会

ア タイトル 「よりよいシニアライフのためのお金の守り方・活かし方」

イ 対象者 一般県民、消費生活相談員、県民相談員、市町行政職員

ウ 研修内容

・消費生活センターの相談事例(25分)

・金融広報アドバイザー^{まさめよし}眞覚良信氏による講演(90分)

(4) 申込み

先着40名(電話・FAX・メール どの方法でも可。別添ちらし参照)

担当 賀茂広域消費生活センター 松永

電話 0558-24-2206